

このたびの西日本で大規模な台風、および大雨により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

平成30年7月6日、降り続いた記録的大雨により岡山県・広島県を中心とした西日本で大規模な水害が発生しました。

その後も各地で土砂崩れや河川の氾濫（はんらん）が相次ぎ、被害が拡大しています。

集計された死亡・行方不明者だけで200人を超える西日本の豪雨被害。長崎に降った大雨で299名の死亡・行方不明者が発生した1982年以降、平成で最悪の水害被害となりました。

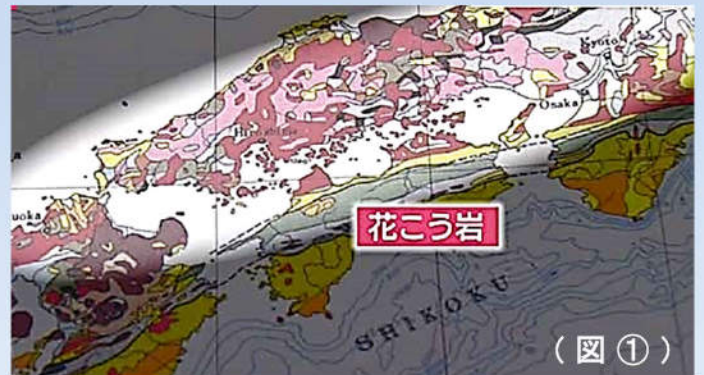


《なぜ、このような大雨が降り続き、土砂災害が起きたのでしょうか？》

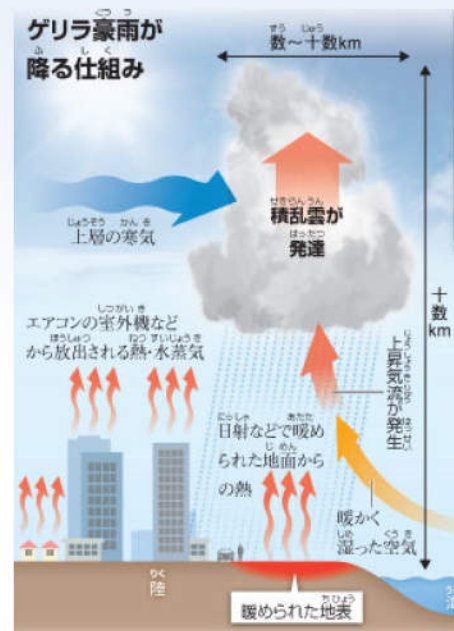
梅雨前線が長く停滞したこと、大量の水蒸気の供給。こうして西日本に非常に発達した雨雲・線状降水帯が次々に発生し、赤や黄色で表される大量の雨が各地にもたらされたのです。

土砂崩れが起きた原因について、緊急調査が行われました。

大学教授の見解によると『大きな石が少ない』という事です。



火山性の岩石である花こう岩。年月を経て風化すると、ぼろぼろに崩れやすくなる性質があります。この花こう岩は、西日本中心に各地に広く分布するといえます。赤い所が、地表に花こう岩が出ている部分です。九州・中国・四国の北部近畿地方など。こうした場所では、特に土砂災害の可能性が高いといえるのです。(図①)



また、温暖化も大きな原因の一つと言えます。温暖化によって南から水蒸気がよりたくさん入ってくると各地の線状降水帯、梅雨豪雨が増えるという推測がされています。

予測できない災害が日本で起きており、今もなお被災されている方々がいらっしゃいます。

何が出来るのか？出来ることはないか？とボランティアの方も多く被災地へ出向いていらっしゃいます。

連日の猛暑。毎日流れてくるニュースを見て心が痛みます。1日も早い復旧を願うばかりです。

夏の風物詩 花火大会中止



「成羽愛宕大花火」は、岡山県で江戸時代から300年以上続いている奉納花火大会の中止も西日本を中心に甚大な被害をもたらした豪雨により中止が決まりました。来年の開催は予定されています。

成羽愛宕大花火のように、各地で台風の影響により各イベントが中止になったり、延期となっているそうです。

8月9月は一年を通し、最も台風が多い月です。警戒が必要になってきますので、皆様お気を付けください。

連携授業プロジェクト

第1弾



弊社HPにも記載していますが、嵯峨美術大学の生徒の皆様と『Re-boardを用いた作品作り』のプロジェクトが始動しました。

生徒の皆様も熱心に受講頂き、有意義な時間となりました。

後日、生徒の皆さんがイメージを膨らまし提案書を作製されました。どの作品も大変力作で、実際にこんな商品があれば良いなあと思う楽しいものばかりでした☆



KP TIMESはびわ湖の森の木になる紙を使用しています

